

事業管理シート【令和8年4月時点】

事業番号	事業名				[担当課] 車両課	
31	南北線車両更新					
事業の目的・位置づけ	戦略	施策		方向性		
	I	安全・安心の推進	3	施設設備の計画的な維持更新	10	車両更新・改修
	I	安全・安心の推進	4	だれもが安心して利用できる環境整備	19	だれもが使いやすい地下鉄車両、駅施設
		ダイバーシティの推進				
	バス		地下鉄	○	両事業	
事業内容	耐用年数を迎える南北線車両を更新します。新型車両3000系ではバリアフリー化(※)を行い、令和6年度から12年度にかけ最大22編成を導入します。また、車両の更新に合わせ検査修繕設備の更新を行います。 ※ホームとの段差縮小、液晶の表示器導入、車いす・ベビーカースペースの増設、冷房能力の向上等					
主な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化等を行った車両を各年度に3~5編成ずつ導入 ・車両の検査時期に合わせて検査修繕設備を順次更新する 					
事業の見通し	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
	<p>The diagram shows two main activities over a five-year period (FY2026-FY2030):</p> <ul style="list-style-type: none"> 車両導入 (Vehicle Introduction): Represented by a blue arrow starting in FY2026 and ending in FY2030. The number of units introduced per year is: 3 units in FY2026, 4 units in FY2027, 3 units in FY2028, 4 units in FY2029, and 2-5 units in FY2030 (subject to demand forecast fluctuations, confirmed for FY2029). 検査修繕設備 (Inspection/Repair Equipment): Represented by a blue arrow starting in FY2026 and ending in FY2030. The status is: '一部完成' (Partially completed) in FY2028, and '完成' (Completed) in FY2030. 					
	3編成	4編成	3編成	4編成	2~5編成(需要予測により変動、令和9年度に確定予)	
検査修繕設備	検査修繕設備更新					
年度予定及び進捗状況(バス)						
年度予定及び進捗状況(地下鉄)	<ul style="list-style-type: none"> ・南北線車両3編成導入 ・車両の検査修繕設備の仕様を決定 					
年度予定及び進捗状況(両事業)						